

大自然が育む恵みの湿原、 幻想的な別天地へようこそ

ラムサール条約登録湿地

(第12回締約国会議 2015年6月 ウルグアイ/プンタ・デル・エステ)



よしがだいらしちぐん

芳ヶ平湿地群 Yoshigadaira Wetlands

芳ヶ平湿原(よしがだいらしちぐん)

大平湿原(おおだいらしちぐん)

平兵衛池(へいべえいけ)

大池(おおいけ)

水池(みずいけ)

チャツボミゴケ公園穴地獄(あなじごく)

草津白根山湯釜(ゆがま)

表紙写真:「芳ヶ平湿原周辺フォトコンテスト」2013最優秀作品
「朝もやの湿原」(撮影/平松啓一郎)

群馬県中之条町



よしがだいらしっちぐん
芳ヶ平湿地群

Yoshigadaira Wetlands

芳ヶ平湿地群

中之条町
草津町
群馬県

よしがだいらしっちぐん 芳ヶ平湿地群

Yoshigadaira Wetlands

芳ヶ平湿原 (撮影: 7月中旬)

群馬県の北西部、中之条町と草津町に広がる芳ヶ平湿地群は、草津白根山(標高2,160m)の火山活動に大きく影響を受け形成された湿地、河川、池沼群です。

標高2,160mの草津白根山湯釜をはじめ、標高約1,800mの芳ヶ平湿原、大平湿原、平兵衛池、大池、水池、標高約1,200mのチャツボミゴケ公園穴地獄までをつなぐ湿地群から成り立っています。

湿地群は群馬、新潟、長野の三県にまたがる上信越高原国立公園第1種及び第2種特別地域に指定されています。

Yoshigadaira Wetlands which spread across Nakanojo-machi and Kusatsu-machi in the northwest of Gunma Prefecture are made up of marshes, rivers and ponds that are greatly affected by the volcanic activity of Mount Kusatsu-Shirane (2,160 m).

They are a group of marshes that connect Mount Kusatsu-Shirane Yugama lake which is at an altitude of 2,160 m, Yoshigadaira moor, Odaira moor, Heibee-ike pond, Oike pond, and Mizu-ike pond at altitudes of about 1,800 m, and Chatsubomigoke Park Anajigoku at an altitude of about 1,200 m.

The marshes include areas in three prefectures (Gunma, Niigata

and Nagano) and are designated as class 1 and class 2 special areas of Joshinetsu-kogen National Park. This expanse of rich green marshes is just one step away from the desolate wilderness of Mount Kusatsu-Shirane (active volcano). Globally important ecosystems including alpine flora such as Watasuge (Eriophorum vaginatum), the Japanese Serow which is a Special Natural Monument, the highest altitude breeding grounds of the Forest Green Tree Frog which is endemic to Japan, and the largest area of Chatsubomi moss (Jungermannia thermanum Steph) in East Asia can be found in the marshes.

草津白根山(活火山)の荒涼とした原野から一歩踏み入ると、目の前には緑豊かな湿地が広がります。湿地群にはワタスゲをはじめ

様々な高山植物や特別天然記念物であるニホンカモシカ、日本固有種であるモリアオガエルの最高標高繁殖地や東アジア最大級のチャツボミゴケ群落など世界的に重要な生態系が存在します。



草津白根山湯釜

Mt.Kusatsu-Shirane
Yugama-lake

直径約300m、水深約30m、水温約18℃の火口湖です。pHが1.0前後と、世界でも有数の酸性度が高い湖とされています。湖水は神秘的な白濁青緑色です。

(撮影：10月中旬)



大池

Oike pond

平兵衛池からつづら折りの山道を下っていくと、視界が開け大池が現れます。その広々とした湖面に山の稜線と白雲を映す姿は詩情をそそります。

(撮影：10月中旬)



芳ヶ平湿原

Yoshigadaira moor

湿原には池塘と呼ばれる池が点在し、その周囲にはワタスゲの群生が見られます。春の新緑、夏のワタスゲ、秋の紅葉、どれも魅力的です。(写真左奥が草津白根山)

(撮影：7月中旬)



水池

Mizu-ike pond

うっそうとした森の中にひっそりと佇む水池。黒く光る水面は他の池とはまた違った趣です。調査により約6,000年前から存在している可能性が認められました。もう少し下れば、チャツボミゴケの群生地にとどり着きます。

(撮影：7月中旬)



大平湿原

Ohdaira moor

芳ヶ平湿原から歩くこと50分、大沢川を渡るとすぐ目の前に広がる湿原です。春にミズバショウも見られます。

(撮影：6月上旬)



(撮影：6月中旬)

平兵衛池

Heibee-ike pond

大平湿原から40分のところにある平兵衛池。透明な湖面は周りの緑を写しだします。龍神伝説も伝わる池の行まいは神秘的です。

(撮影：7月中旬)

チャツボミゴケ公園穴地獄 Chatsubomigoke Park Anajigoku

俗称「穴地獄」に自生しているのが「チャツボミゴケ」です。酸性の水の流れる所に生育します。東アジア最大級の群落を形成しています。その美しさは、まるでピロードの絨毯を敷き詰めたようです。



平成25年度に中之条町により実施された自然環境調査で様々な発見が確認されました。



モリアオガエル 日本最高標高繁殖地 (日本固有種 IUCNレッドリスト 軽度懸念：LC)



ホソカワワズク (環境省レッドリスト 絶滅危惧II類：VU)

アクセスは県天然記念物チャツボミゴケからの上りルートと、草津白根山または長野県境の波峠からの下りルートがあります。いずれのルートも登山口駐車場まで、中之条町の中心部から車で約1時間30分です。また草津町からは約30分です。

●芳ヶ平湿原～渋峠の道

江戸時代、草津から善光寺に行くには仁礼街道（草津町から嬭恋村を通り、長野県上田市へ抜ける街道）が本通りでしたが、芳ヶ平から渋峠に抜けるこの街道が善光寺に近いので、多くの人々が芳ヶ平を通行しました。

これを受け仁礼街道沿いの宿場などからは不満が出て、幕府によって通行を禁止されますが、その後も細々と人々の往来があったようです。

参考：「六合村誌」「草津温泉誌第巻巻」「山ノ内町誌」

写真提供：芳ヶ平ヒュッテ管理人 新堀研二氏／昭和10年頃の芳ヶ平湿原を往来する人々



●小蓋明神

芳ヶ平湿原の一角に小蓋の池が存在しました。記録によると、江戸時代から昭和初期まで池に浮島が確認されており、そこに乗ることができたので、草津温泉を訪れた人や地元の人たちがしばしば遊びに訪れました。江戸時代には、浮島はお椀に蓋をしたような姿から小蓋明神として祀られていたといわれています。次第に池は草木に覆われ湿地に、やがて笹原に変わり現在は場所すらもわからない、幻の池となりました。

参考：「草津の神社仏閣」中澤藤／1985 「六合村誌」 写真：「目で見る吾妻の100年」中澤恒夫、小池義人 2007/4 小蓋の池



ラムサール条約とは？

1971年にイランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約が、開催地にちなんで一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。

その目的は、「保全・再生」「賢明な利用」「交流・学習」と言われています。貴重な生態系を「保全・再生」するのももちろんです

The “Convention on Wetlands of International Importance, especially as Waterfowl Habitat” was adopted at the “International conference on the conservation of wetlands and waterfowl” which was held in Ramsar, Iran in 1971. This treaty is normally referred to as the “Ramsar Convention” after the name of the place where the conference was held.

The purpose of the treaty is “conservation and restoration”, “wise use of wetlands”, and “international cooperation and study”. In addition to the “conservation and restoration” of this precious

ecosystem, importance is placed on the “wise use” of the benefits from the wetlands, and increasing awareness of this through “international cooperation and study”.

The wetlands are the habitat for a great variety of plant and animal life, and are a precious resource that helps support our lives. We will continue to conserve and use the natural environment of the Yoshigadaira Wetlands appropriately, and hope that many people will recognize their value and that they will become a place that people want to visit.

自然保護と楽しい散策(登山)のために

- ・決められた登山道や木道を歩き、湿原には立ち入らないようにしましょう。
- ・植物を傷めたり、採取しないようにしましょう。
- ・ストックを使用する際は、ストックの先端にキャップを付けましょう。
- ・ごみは持ち帰りましょう。
- ・外来植物の侵入を防ぐため、入山口では、登山靴等についた泥を十分に落としましょう。
- ・キャンプ場指定地以外での幕営はやめましょう。

- ・自分の体力、技術、装備に対応した無理のない計画にしましょう。
- ・家族や職場にも登山コースや帰宅時間等を伝えましょう。
- ・計画に沿った装備、食料（非常食を含む）は準備しましょう。
- ・携帯電話・無線機等による通信手段の確保に努めましょう。
- ・最新の気象情報入手し、天候の急変や予定時間が大幅に遅れている場合は直ちに下山しましょう。

★緊急連絡先★ ・長野原警察署 0279-82-0110 ・吾妻警察署 0279-68-0110 ・芳ヶ平ヒュッテ 090-4060-6855 (衛星電話)

ラムサール条約に関する窓口

中之条町役場企画政策課
Nakanajo-machi Town Office Policy Planning Section
〒377-0494
群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町1091番地
電話：0279-75-2111 (代表)
FAX：0279-75-6562 (代表)
Email：ramsar@town.nakanajo.gunma.jp

草津町役場企画創造課
Kusatsu-machi Town Office Project and Creation Section
〒377-1792
群馬県吾妻郡草津町大字草津28番地
電話：0279-88-0001 (代表)
FAX：0279-88-0002 (代表)

観光に関する窓口

中之条町役場観光商工課
Nakanajo-machi Town Office Tourism Commerce and Industry Section
電話：0279-26-7727 (直通)
草津町役場観光課
Kusatsu-machi Town Office Tourism Section
電話：0279-88-0001 (代表)